

舞台に立つために

京都ミューズの合唱団では、演奏会に出演するための条件として、以下の4つを定めています。

入団前にご確認ください。

1. 規定の回数のレッスンに出席すること

- 合唱団として1つの音楽を作っていくためには、合唱団員が可能な限り多くのレッスンを共有することが不可欠です。したがって、特段の事情のない限り、レッスンには参加してください。
- レッスンの共有を進める一環として、合唱団員が最低限出席すべき回数を定めます。
- 今回の「カルミナ・ブラーナ」演奏会に出演するためには、合計17回以上のレッスン出席が必要です。
- 出席回数のおさえ方は以下の通りです。
 - ・「レッスン」には7月7日(金)に行われるオーケストラ合わせも含まれます。
 - ・レッスンはいずれも1回と数えます。ただし、午前・午後にわたってレッスンが行われる日は、午前・午後それぞれ1回ずつとカウントします。
 - ・レッスンは30分以上の参加をもって出席とします。
- 連絡事項の伝達漏れを防ぐため、レッスンは3回以上続けて休まないようにしてください。やむを得ず3回以上続けて休むときは、前もって京都ミューズ事務局(Tel: 075-353-7202)に連絡してください。

2. 本番指揮者レッスン、演奏会当日のゲネプロ(リハーサル)に参加すること

- 本番指揮者の指揮によるレッスンが3回予定されています(合唱団のみのレッスン2回、オーケストラ合わせ1回)。本番指揮者の指揮・音楽表現を理解するため、このうち少なくとも2回に必ず出席してください。
- 演奏会当日は、演奏会に先立ち、ホールにてゲネプロが行われます。これに遅刻・欠席された場合はいかなる理由があっても演奏会に出演できません。
- 演奏会当日のスケジュールは演奏会直前に確定しますが、当日は9時頃から夕方の終演までスケジュールが組まれます。遅刻せず参加できるよう、今のうちからスケジュール調整をしておいてください。

3. 満席で演奏会を迎えるために、聴きに来てくださる方をお誘いし、チケットを4枚以上申し込むこと

- 演奏会を成功させるため、合唱団員全員がチケットを拡販し、満席の演奏会を目指します。
 - ①京都ミューズの合唱団は、ただ歌うだけでなく、演奏会そのものを団員の手で作っていく合唱団です。
 - ②その為、演奏会は合唱団の手で、完売・満席にします。つまり、合唱団全体で約1200枚、1人平均約6~7枚のチケットを広め、さらに、多く広められる方は1人でも多くの方を演奏会にお呼びすることを目指します。
 - ③全員が演奏会づくりに関わることを原則とし、演奏会に出演する全員が必ず4人以上の聴衆をホールに呼ぶ(=必ず4枚以上のチケットを申し込む)ものとします。※U-25団員は1枚以上とします。

4. 基準を満たす衣装を着用すること

- 京都ミューズの合唱団では演奏会で着用する衣装を各自でご用意いただいています。
 - 衣装については
 - ①お客様を礼装でお迎えする。
 - ②お客様に気持ち良く鑑賞していただく。
 - ③見た目にも統一感のあるステージにする。ということを目的として一定の基準を設けています。出演のためにはこの基準を満たした衣装を着用いただく必要がありますので、余裕をもってご準備ください。
 - お手持ちの衣装が基準を満たすか判断に迷われたときは、現物をもって受付にご相談ください。
- ※基準の詳細は次ページ(裏面)をご参照ください。

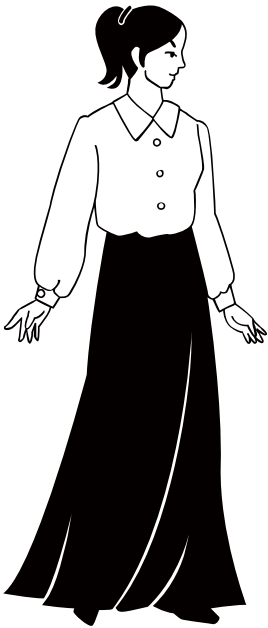
※その他、京都ミューズが主催者として、演奏会の開催・進行に支障をきたすと判断した場合には、入団・登壇をお断りすることがあります。

※演奏会では楽譜を持たずに歌う予定です。

【演奏会衣装ガイド】

基本の考え方

- お客様を礼装でお迎えます。
- 見た目にも統一感のある演奏会にします。
⇒飾りの少ない衣装を選び、着方を統一することで、
特定の方の衣装が目立つことなく、遠目に衣装が揃って見えるようにします。
髪につけるアクセサリ（髪留め）は、髪色に馴染んで目立たない色・大きさの物を選びます。
- お客様に気持ち良く鑑賞していただけるよう、配慮します。
⇒下記「お客様に気持ち良く聴いていただくために」にまとめた注意事項を守ります。

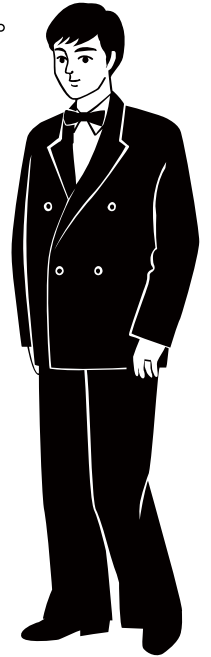


女性の衣装

- ブラウス……ボタンの色も含めて白の、長袖のもの。肌が透けない生地のもの。
袖は手首までの長さ。裾はスカートの中に入れる。
- スカート……黒無地でスリットが無いもの。
丈は、本番の靴を履いたときにくるぶしが隠れる長さ。
- 靴……飾りのない黒靴。パンプス、ローファーが望ましい。
- ストッキング等……黒で、少なくとも膝あたりまで長さのあるもの。
長さが十分なら、黒無地靴下も可。

男性の衣装

- 礼服・略礼服・黒スーツ
- Yシャツ……ボタンの色も含めて白のもの
- 蝶ネクタイ……黒無地のもの
- 靴……飾りのない黒革靴
- 靴下……黒無地のもの



お客様に気持ち良く聴いていただくために

- 結婚指輪・髪留め以外のアクセサリ及び時計は外します。
⇒舞台照明を反射し、お客様の鑑賞の妨げになることがあります。
- 肌着の透けるものや露出度の高いものなどは避けます。
⇒お客様に不快感を与える場合があります。肌着は強い舞台照明を浴びると、思っている以上に透けます。
目立たないよう、肌の色に近いものを選びましょう。

その他

- 身体的な理由で、パンプスなど礼装にふさわしい靴の着用が難しい場合は、遠目に礼装に見える、黒色の履き慣れた靴を着用していただいて構いません。本番衣装での移動を安全に行うことを優先します。
- 上記基準に沿ったものの準備が困難な場合は、現物を持ってレッスン会場受付にご相談ください。